

# 《第15回 秋の縄文野焼き祭り》



## ● 縄文土器で煮炊きをしよう!

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。土器を大地にすえて水と肉・野菜を入れ、そのまわりに薪をつんで燃やして汁物をつくります。みんなで野生的な味わいを堪能しよう！

□ (12時頃～／無料)



## 《縄文体験コーナー》

### ● 石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□ (随時／黒・ピンク・白各500円)



### ● 粘土でつくろう！

縄文粘土で土偶やまが玉など、思い思いの発想であなただけの作品を。

□ (随時／300円)

## 《いのりの土偶づくり》

先の東日本大震災の震災地への思いや気持ちをこめた「縄文いのりの土偶」づくりを、前年度より有志の方々へ呼びかけております。再起を期して心を奮い立たせている被災者の皆様への応援の気持ちを土偶にこめて、思いをつなげていきたいと思います。

□ (随時／300円)

※ 参加費は全額復興義援金として寄付いたします

※ 制作された「いのりの土偶」のご寄付をお願いします

## 《販売コーナー》

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物などを販売いたします。どうぞご利用ください。

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物などを販売いたします。どうぞご利用ください。



### ● 縄文野焼き祭りとは？

今年で7年目となる猪風来美術館恒例の『縄文野焼き祭り』では、館の陶芸教室生や法曾焼同好会員の作品を焼成。焼物の原点である縄文野焼きは、窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼きあげます。生命と魂の躍動する独自の造形と縄文文様は現代の人々を魅了しています。

### ● 野焼きの見どころ

重要文化財指定の亀ヶ岡式遮光器土偶の復元をはじめ、さまざまな土偶や土器、土面や縄文シーサーなどを一堂に野焼きします。あぶり焼きから徐々に火を育て、クライマックスには竜のように猛る炎。法曾のゆたかな自然のもと皆で炎をかごみ、あなたも縄文人の心地になってみませんか？ どなたでも自由に参加・見学できますので、みなさんお誘い合わせのうえお越しください。



## 《縄文野焼き大賞》

焼き上がった作品の中から「縄文野焼き大賞」をはじめ各賞を選考・表彰し、賞状や記念品を贈呈いたします。みなさんの力作が炎の中で命を宿し、縄文野焼きならではのあたたかく力強い味わいとなります。受賞作品は後日、猪風来美術館にて展示いたします。



■日時 2012年10月14日(日)AM9時～PM4時 ※雨天時10月21日(日)

■会場 猪風来美術館前広場

入場無料（館内は観覧料が必要です）

■主催 新見市教育委員会・猪風来美術館（新見市法曾陶芸館）

法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL・FAX 0867-75-2444

〒719-2552 岡山県新見市法曾 609



新見市法曾陶芸館

<http://www.ifurai.jp/>

### ■アクセス

岡山から車で約90分

岡山空港から車で約70分

賀陽ICから車で約45分

新見ICから車で約30分

井倉駅からタクシーで約15分

方谷駅からタクシーで約10分